

- めあて
- ・ いろいろな材料の形や色などをとらえ、組み合わせたり加工したりして、イメージをふくらませ絵に表す。
 - ・ 自分や友達の作品を詩に表して、そのよさを味わう。
- 準備物
- ・ 集めた身の回りの材料、絵の具（児童）
 - ・ 色画用紙、ボンド、両面テープ（教師）



と白四あ大船一ひ波ザ まっ大船一ひ波ザ ジャ
 っい角いやきに人びのバ んりきに人びのバ ヤ
 てあもわ つな乗のき音 ぞ上な乗のき音 ン ズ
 もおいよ った。 を よた りわ りわ ン ズ
 におい の海 が うる し中 りわ りわ ン ズ
 あい。 海 が が し中 が が ン ズ
 りようし

<友達が作った詩>

<友達の書いた詩を読んでから作品を見ると、さらに作品のよさを感じる。>

学習内容	実践上の留意点
○材料箱を持ってきて、見せ合う。	・ 事前に身の回りのいろいろな物を集めさせ、材料箱に入れて持って来させる。
○材料からひらめく。 材料から見立てて、表したいものを決めていく。	・ 材料箱から使いたい材料を出し、机の上に並べ、感触を味わいながら、形を見立てさせる。 ・ 見立てた形からイメージをふくらませ、表したいものを決めさせる。
○材料を生かして、絵に表す。 色画用紙に表したいものを並べ、ボンドや両面テープで貼り付けて、絵の具でまわりを彩色する。	・ 表したいものや材料の色に合わせて、画用紙の色を選ばせる。 ・ 材料から思いついた絵のイメージに合うように彩色したり、材料だけでは表しきれなかったことを加筆したりさせる。
○自分や友達の作品を詩に表し、読み合う。	・ 国語科「詩を読もう」の学習を生かすようにする。 ・ 自分の作品の紹介として、自分が表したかったイメージを詩に表わすようにする。 ・ 友達の作品の詩や題名を見ないようにして、友達の作品から受けた自分のイメージを詩に表わすようにする。 ・ 詩には、色・形の要素を入れるようにし、鑑賞活動につながるようにする。

